

環境リスク評価結果の一覧 (リスク判定について、レベル1は「Ⅰ」、レベル2は「Ⅱ」、レベル3は「Ⅲ」で表記)

No.	物質名	有害性指標	有害性指標引用元	初期評価			追加評価1回目			追加評価2回目			追加評価3回目			追加評価4回目			追加評価5回目			
				地域	年度	暴露濃度データ ( )内は調査等年度	判定結果及びMOE/EPI/ がん過剰発生率 <sup>※1</sup>	年度	暴露濃度データ	判定結果及びMOE/EPI/ がん過剰発生率	年度	暴露濃度データ	判定結果及びMOE/EPI/ がん過剰発生率	年度	暴露濃度データ	判定結果及びMOE/EPI/ がん過剰発生率	年度	暴露濃度データ	判定結果及びMOE/EPI/ がん過剰発生率	年度	暴露濃度データ	判定結果及びMOE/EPI/ がん過剰発生率
初期評価の結果が レベル1またはレベル2の物質	1 エチレンオキシド	発がん性 (EPI)	環境省	臨海部	H25	実測(H24)	Ⅱ 7.7×10 <sup>-5</sup>	H27	実測(H26)	Ⅱ 9.5×10 <sup>-5</sup>	H28	実測(H27)	Ⅰ 5.5×10 <sup>-4</sup>	H29	実測(H28)	Ⅱ 1.3×10 <sup>-4</sup>	H30	実測(H29)	Ⅱ 1.2×10 <sup>-4</sup>	R2	実測(R1)	Ⅱ 1.2×10 <sup>-4</sup>
				臨海部		予測(H23)	Ⅱ 1.9×10 <sup>-4</sup>															
		臨海部		実測(H24)		Ⅲ 2500																
		臨海部		予測(H23)		Ⅲ 1000																
	2 三価クロム化合物(クロム及び三価クロム化合物)	発がん性以外	環境省	臨海部	H26	実測(H25)	Ⅱ 11	H29	実測(H28)	Ⅱ 14	R3	実測(R2) (市内4地点)	Ⅱ 25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 四塩化炭素	発がん性以外	環境省	臨海部	H29	実測(H27)	Ⅱ 19	R1	実測(H30)	Ⅱ 19	R2	実測(R1)	Ⅱ 20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4 2-アミノエタノール	発がん性以外	環境省	臨海部	H27	予測(H25)	Ⅱ 21	H30	実測(H29)	Ⅲ 1200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5 ナフタレン	発がん性以外	環境省	臨海部	H25	実測(H25)	Ⅱ 38	H27	実測(H26)	Ⅱ 55	R1	実測(H30) (市内4地点)	Ⅲ 120	R2	実測(R1)	Ⅱ 33	-	-	-	-	-	
6 n-ヘキサン	発がん性以外	環境省	臨海部	H25	予測(H23)	Ⅱ 40	H27	実測(H26)	Ⅲ 260	H30	実測(H29)	Ⅲ 140	R1	実測(H30)	Ⅲ 100	R2	実測(R1)	Ⅲ 100	-	-		
7 アクリル酸(アクリル酸及びその水溶性塩) <sup>※2</sup>	発がん性以外	環境省	臨海部	H28 H30 R2	実測(H27) 実測(H29) 実測(R1) (R1分析法改良)	Ⅱ (41) (31) 50	H30	実測(H29)	Ⅱ (76)	R2	実測(R1) (R1分析法改良)	Ⅱ 54	-	-	-	-	-	-	-	-		
8 アクリル酸エチル	発がん性以外	環境省	内陸部	H27	実測(H21)	Ⅲ 2300	H29	実測(H28)	Ⅲ 15000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
臨海部	予測(H25)	Ⅱ 65																				
初期評価の結果が レベル3の物質のうち 実測結果より算出した MOEが100以上1000未満	9 1,2-エポキシプロパン	発がん性 (がん過剰発生率)	環境省	臨海部	H25	実測(H24)	Ⅲ 3.7×10 <sup>-7</sup>	H29	実測(H28)	Ⅱ 8.5×10 <sup>-6</sup>	H30	実測(H29)	Ⅲ 5.9×10 <sup>-7</sup>	R2	実測(R1)	Ⅱ 2.3×10 <sup>-6</sup>	-	-	-	-	-	
				臨海部		予測(H23)	Ⅲ 4.8×10 <sup>-7</sup>															
		臨海部		実測(H24)		Ⅲ 130																
		臨海部		予測(H23)		Ⅲ 100																
	10 1,2,4-トリメチルベンゼン	発がん性以外	環境省	臨海部	H26	実測(H25)	Ⅲ 100	H30	実測(H29) (市内4測定局)	Ⅲ 140	R3	実測(H29) (市内4測定局)	Ⅱ 96	R3	実測(H30) (市内4測定局)	Ⅱ 92	R3	実測(R1) (市内4測定局)	Ⅲ 160	R3	実測(R2) (市内4測定局)	Ⅲ 220
	11 アセトニトリル	発がん性以外	環境省	内陸部	H29	実測(H28)	Ⅲ 160	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	12 1-ブロモプロパン	発がん性以外	環境省	臨海部	H26	実測(H24)	Ⅲ 230	H28	実測(H27) (市内4測定局)	Ⅲ 520	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	13 コバルト及びその化合物	発がん性以外	環境省	臨海部	H29	実測(H28)	Ⅲ 430	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
14 モリブデン及びその化合物	発がん性以外	環境省	臨海部	H29	実測(H28)	Ⅲ 430	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
15 アリルアルコール	発がん性以外	環境省	臨海部	H28	実測(H27)	Ⅲ 610	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
初期評価の結果が レベル3の物質のうち 実測結果より算出した MOEが1000以上	16 エチルベンゼン	発がん性以外	環境省	臨海部	H19	予測(H16)	Ⅲ 1000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	17 アクリル酸メチル	発がん性以外	環境省	臨海部	H27	実測(H21)	Ⅲ 1000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	18 1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン	発がん性以外	環境省	臨海部/ 内陸部/ 丘陵部	H31	実測(H30)	Ⅲ 2000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	19 メタクリル酸	発がん性以外	環境省	丘陵部	H26	実測(H20)	Ⅲ 2200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
				臨海部		予測(H24)	Ⅲ 300															
	20 アクリル酸ノルマルブチル	発がん性以外	環境省	内陸部	H26	実測(H19)	Ⅲ 3000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
				臨海部		予測(H24)	Ⅲ 430															
	21 α-メチルステレン	発がん性以外	環境省	臨海部	H29	実測(H28)	Ⅲ 3400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	22 N,N-ジメチルホルムアミド	発がん性以外	環境省	臨海部	H28	実測(H27)	Ⅲ 3700	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	23 メタクリル酸メチル	発がん性以外	環境省	臨海部/ 内陸部	H26	実測(H19)	Ⅲ 3800	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
				内陸部		予測(H24)	Ⅲ 900															
	24 スチレン	発がん性以外	環境省	臨海部	H19	実測(H16)	Ⅲ 4400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	25 N,N-ジメチルアセトアミド	発がん性以外	環境省	内陸部	H30	実測(H29)	Ⅲ 5900	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	26 1,2-エポキシブタン	発がん性以外	環境省	臨海部	H29	実測(H28)	Ⅲ 7100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	27 エチレングリコールモノメチルエーテル	発がん性以外	環境省	内陸部	H27	実測(H19)	Ⅲ 8200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	28 酢酸ビニル	発がん性以外	環境省	臨海部	H27	予測(H25)	Ⅲ 9700	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
29 イソプロピルベンゼン	発がん性以外	環境省	丘陵部	H27	実測(H23)	Ⅲ 13000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
30 ニッケル	発がん性以外	NITE&CERI	臨海部	H28	実測(H27)	Ⅲ 27000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
31 3-クロロプロペン	発がん性以外	NITE&CERI	臨海部	H23	予測(H20)	Ⅲ 46000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
32 イソブレン	発がん性以外	NITE&CERI	臨海部	H19	予測(H16)	Ⅲ 870000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
33 1,4-ジオキサソ	発がん性以外	環境省	臨海部/ 内陸部	H19	予測(H16)	Ⅲ 1800000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
34 ジシクロペンタジエン	発がん性以外	環境省	臨海部/ 内陸部/ 丘陵部	H29	実測(H28)	Ⅲ 2400000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

物質名の()内は、第一種指定化学物質としての名称を示す。  
 ※1 MOE=有害性評価値÷実測年平均値 MOE:レベル1(Ⅰ)<100≤レベル2(Ⅱ)<1000≤レベル3(Ⅲ)(有害性指標の引用元をNITE&CERIとしている場合:MOE≤不確実係数の場合はレベル1、不確実係数<MOEの場合はレベル3)、がん過剰発生率=実測年平均値×ユニットリスク がん過剰発生率:レベル3(Ⅲ)<10-6≤レベル2(Ⅱ)<10-5≤レベル1(Ⅰ)、EPI=実測年平均値÷生涯の過剰発生率5%に対する暴露量。 EPI:レベル3(Ⅲ)<2.0×10-5≤レベル2(Ⅱ)<2.0×10-4≤レベル1(Ⅰ)  
 ※2 アクリル酸のH27,29の調査結果については日本調査に準じた方法で分析を実施したが、十分な回収率が得られず、欠測扱いとなった試料が多く有効な測定回数がかつたため、実測平均値ではなく最大値を用いてリスク評価を実施。H30に分析について改良の検討を行い、十分な回収率が得られたためR1では改良した分析法で改めて初期評価及び追加評価を実施。